

# クワンフット

《自動車用薬液噴射装置》

小型トラック用

24V 車対応

## 取り付け要領書

はじめにお読みください

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

**ISUZU**

東北海道いすゞ自動車株式会社

## ごあいさつ

この度、自動車用薬液噴射装置【クリンフット】をお買い上げいただきありがとうございます。  
この取り付け要領書には薬液噴射装置の取り付け作業における確認事項と作業手順および注意事項について記述してあります。  
作業を始める前に本書をよく読んでいただき、内容をよく理解した上で作業に取り掛かってください。

## 保証について

キットの各部品の品質保証は東北海道いすゞ自動車株式会社が行います。  
キット部品の製造上の不良についてはキット購入後1年間を期限として無償交換いたします。  
取り付け作業にかかわる部分の品質保障はその作業を実施したところで行ってください。  
取り付け作業に起因する各部品の破損・汚染・品質の劣化などによる部品の交換は、作業を実施したところで負担してください。

## エンドユーザーへの説明のお願い

エンドユーザーへの装置の説明は取り付け作業を実施したところで、あらかじめその内容を理解した上で確実に行ってください。  
使用方法及び取り付けの状態について説明してください。

尚、品質・性能向上のため、キット部品の変更を行う場合があります。その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

1. はじめに	1
2. 目次	2
3. 装置の概要	3
4. 取り付けの手順	
4-1 取り付け場所の決定	4
4-2 タンク台の取り付け	5
4-3 噴射ノズルの取り付け	6
4-4 手持ちノズルの取り付け	9
4-5 チューブの配管	10
4-6 スイッチの取り付け	12
4-7 電気の配線	12
5. ご使用にあたっての注意	14

### 3. 装置の概要

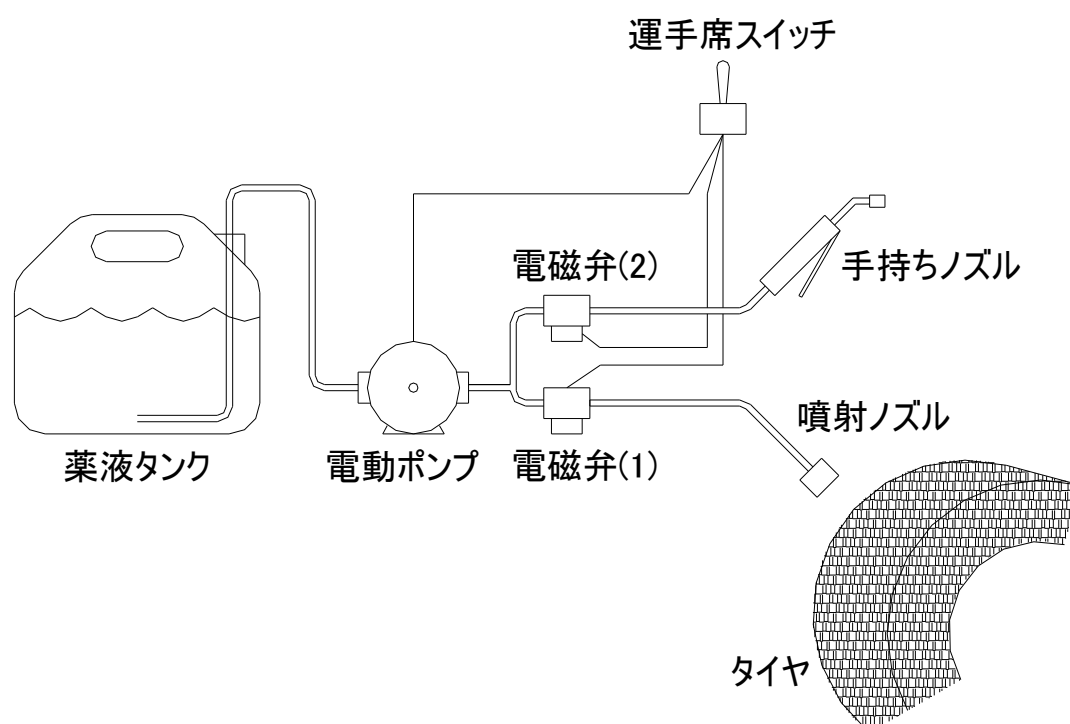
#### 3-1 装置の特徴

本装置は、運転席に乗ったままスイッチを操作して車を少し動かすだけで、タイヤに薬液をかける作業ができるため、自動車のタイヤ消毒作業が軽減できます。

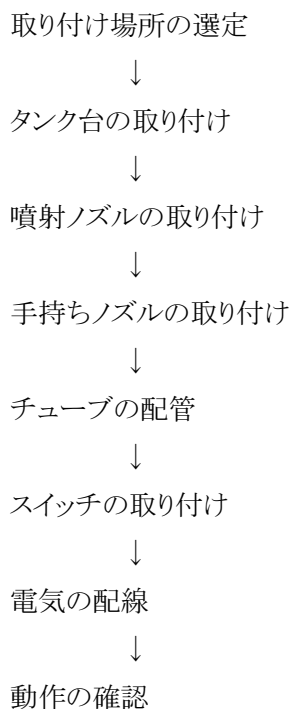
重量は装置・薬液・ブラケット類を含めて約 30 キログラムです。ほとんどの場合陸運支局への申請などは必要ありません。(帯広陸運支局で確認済み)

ただし、見解の異なる場合もありますので管轄の陸運支局へお問い合わせください。

#### 3-2 装置の構成



次の順序に従って作業を進めてください。



本機の実取り付けの状態によって、薬液噴射の能力や使いやすさ、機材の消耗、ノズルの泥詰まりなどに大きな差が出てきます。

本書の指示に従い、確実に取り付けてください。

### 4-1 取り付け場所の決定

**薬液タンク** は薬液の注入、残液の排出や清掃など、毎日扱うものです。エンドユーザーと一緒に使って使い易い位置を考え、取り付ける場所を決めることをお勧めします。

できるだけ車両の中心付近に取り付けられればチューブ類の配索も短くなり理想的です。

## 4. 取り付けの手順

### 4-2 タンク台の取り付け

下図の様に車体のフレームのあいている箇所、に、ボルト(M10×30) 4本にて固定してください。

取り付け上の注意

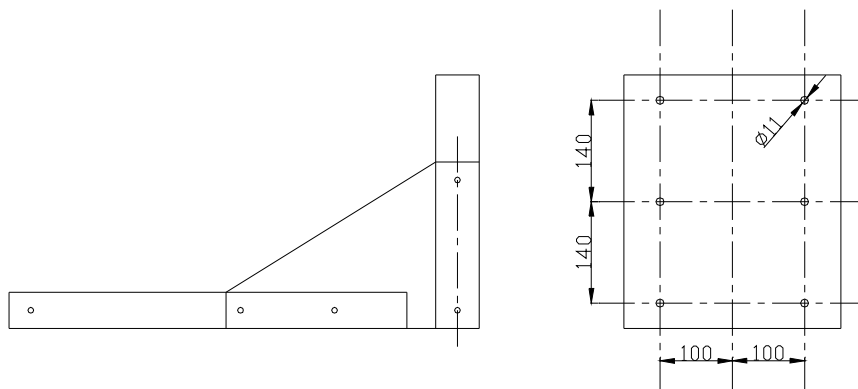
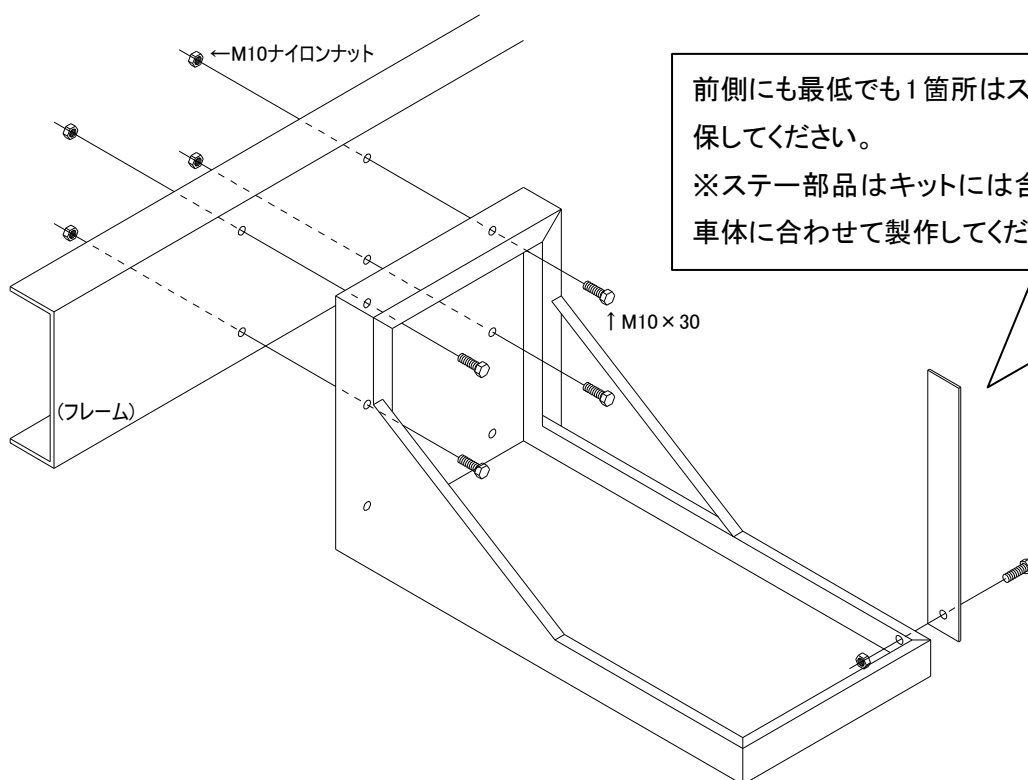
※消毒液の注入の妨げにならないよう、障害物に当たらないように取り付けてください。

※荷台より高い位置には設置しないでください。



**注意**

タンク台は、実際の使用時には薬液を満載した状態で 30 キログラム程の重量になります。脱落等の危険のないよう、十分な強度をもって固定してください。



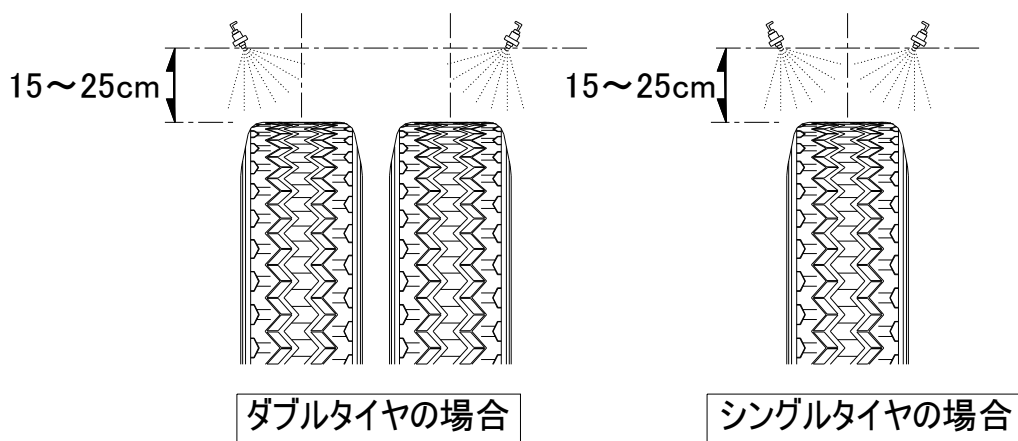
## 4. 取り付けの手順

### 4-3 噴射ノズルの取り付け

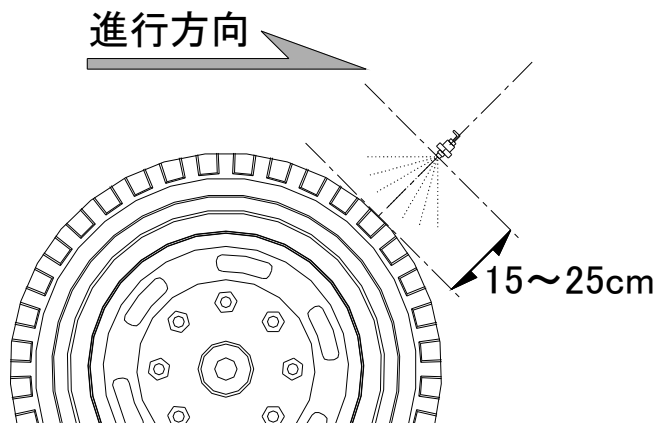
理想的なノズルの取り付け位置は下記の通りです。

車両に合わせて、できるだけ下図に近い位置でノズルの取り付け位置を選定してください。

1. タイヤのトレッド面に対し斜めから吹き付けるようにしてください。

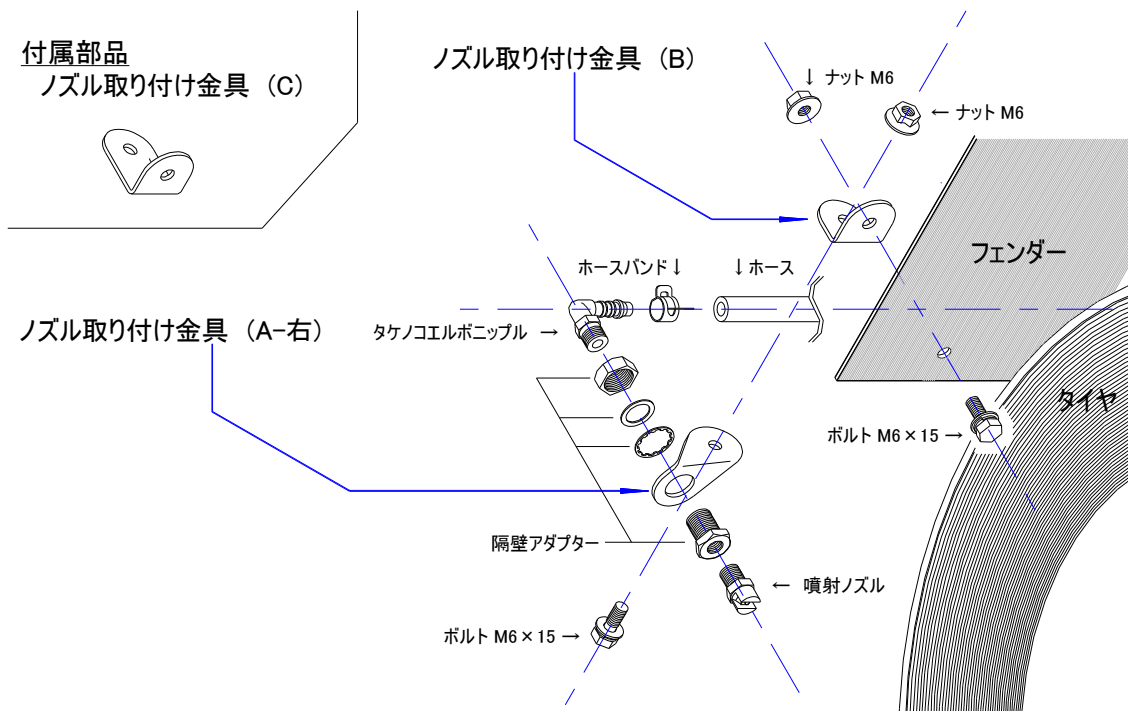


2. 横から見たときにタイヤの前面から吹き付けられるようにしてください。



**重要** 取り付け位置が悪いと、泥などによりノズル詰まりをおこし噴射能力の低下につながります。

## 4. 取り付けの手順

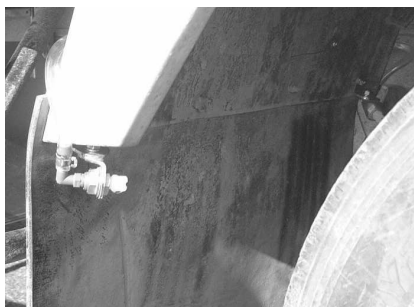


3. 前項を参考に理想的なノズルの取り付け位置になるように、フェンダー等に取り付けてください。  
(6.5mm のキリ穴加工が必要です)
4. ノズル取り付け金具 A、B、C を組み合わせて、角度等を調整してください。  
取り付け金具 A は右まがり、左まがりの 2 種類あります。

次項の例を参考に、車両に合わせて適切な位置に取り付けてください。



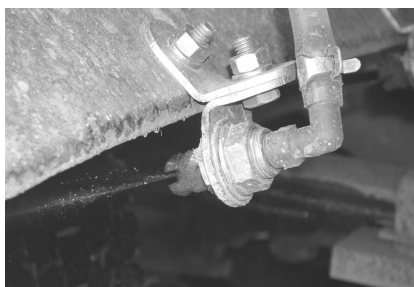
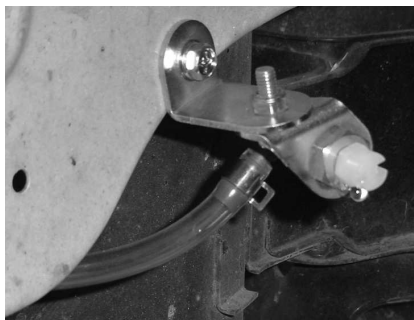
### 取り付け方の例



フェンダーが比較的取り付けやすいです。



取り付け金具 A、B、C を組み合わせて適切な位置に取り付けてください。



タイヤに薬液が均等にかかるように、角度を調整してください。



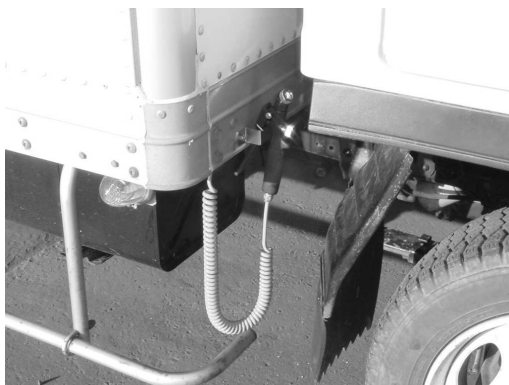
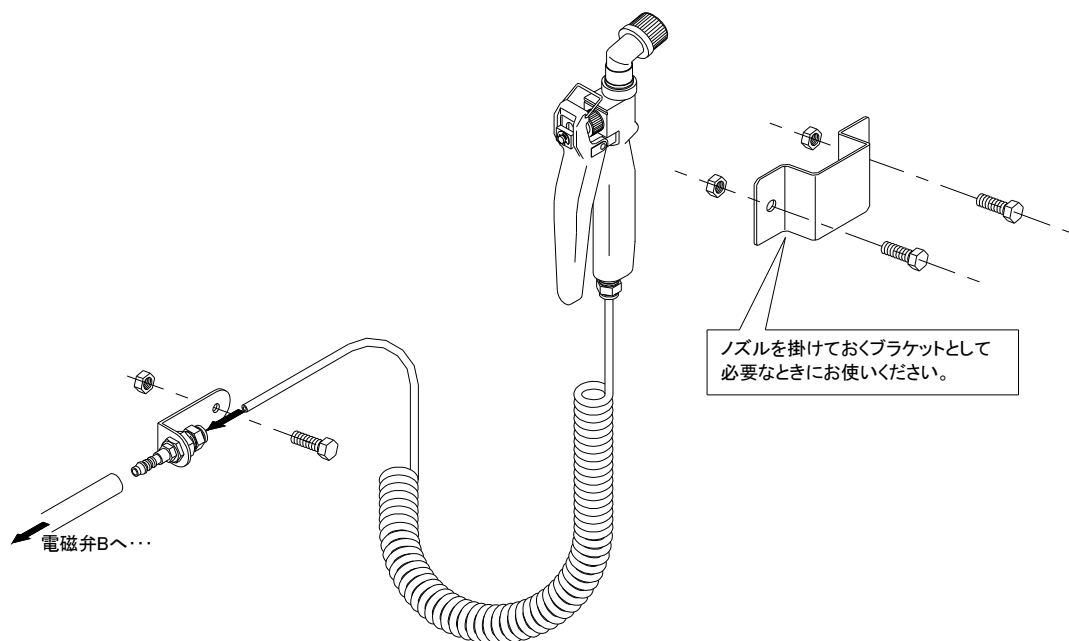
ノズルへつながるチューブはしっかりと固定し、他の部分に干渉しないようにしてください。

## 4. 取り付けの手順

### 4-4 手持ちノズルの取り付け

手持ちノズルは、乗務員の足元や身の回りなどの消毒を行う際に便利です。

取り付けの際にはエンドユーザーと相談し、実際に使用する場合を想定して使いやすい位置に取り付けてください。



運転席後部に取り付けた例



運転席足元に取り付けた例

## 4. 取り付けの手順

### 4-5 チューブの配管

チューブの配管に使用する部品には、形状の似ているサイズ違いの部品が多くあります。  
以下を参考に、間違いのないようにつないでください。

#### チューブ

- ・ 透明チューブ (外径 12mm×内径 8mm)
- ・ 透明チューブ (外径 10mm×内径 6mm)

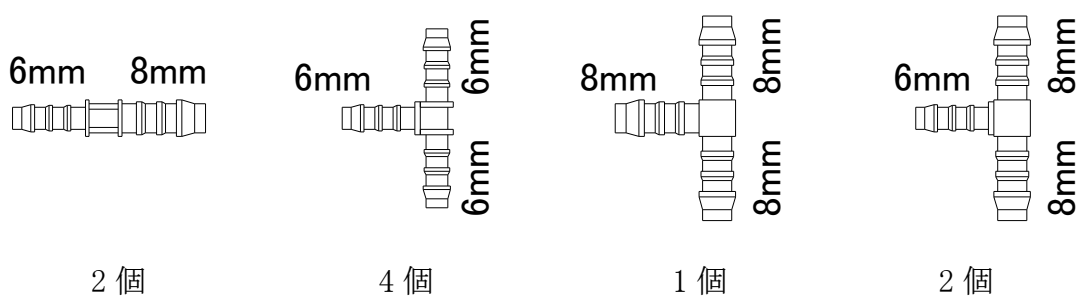
#### ホースバンド

- ・ 12mm 用
- ・ 10mm 用

#### ホース固定部品

- ・ 12mm 用
- ・ 10mm 用

#### ホース接続部品

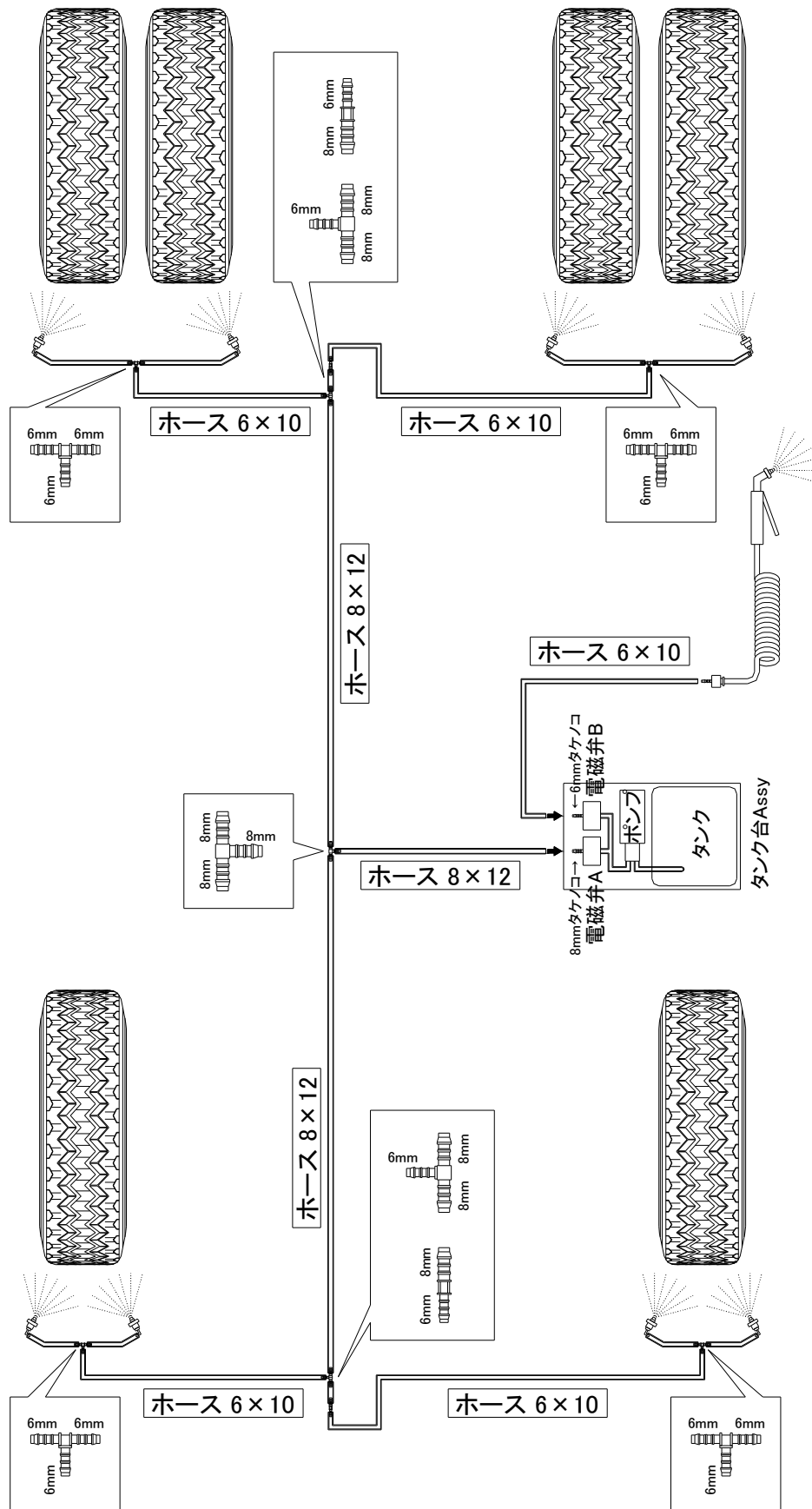


#### **注意**

チューブは、たるみなどの無いようにしっかりと固定し、車両の走行に支障のないようにしてください。

次項にチューブ配管図を示します。

## 4. 取り付けの手順



### 4-6 スイッチの取り付け

1. 電源スイッチは、運転席から操作のできる場所で、なおかつ不用意にスイッチにさわらない場所、運転の妨げにならない場所に取り付けてください。

### 4-7 電気の配線

1. 電源(DC24V)は、できるだけアクセサリ端子(ACC)から取ってください。  
(車のエンジンキーを切った時、誤って本装置のスイッチが入った状態であっても電源が切れるように接続してください。)

#### **重 要**

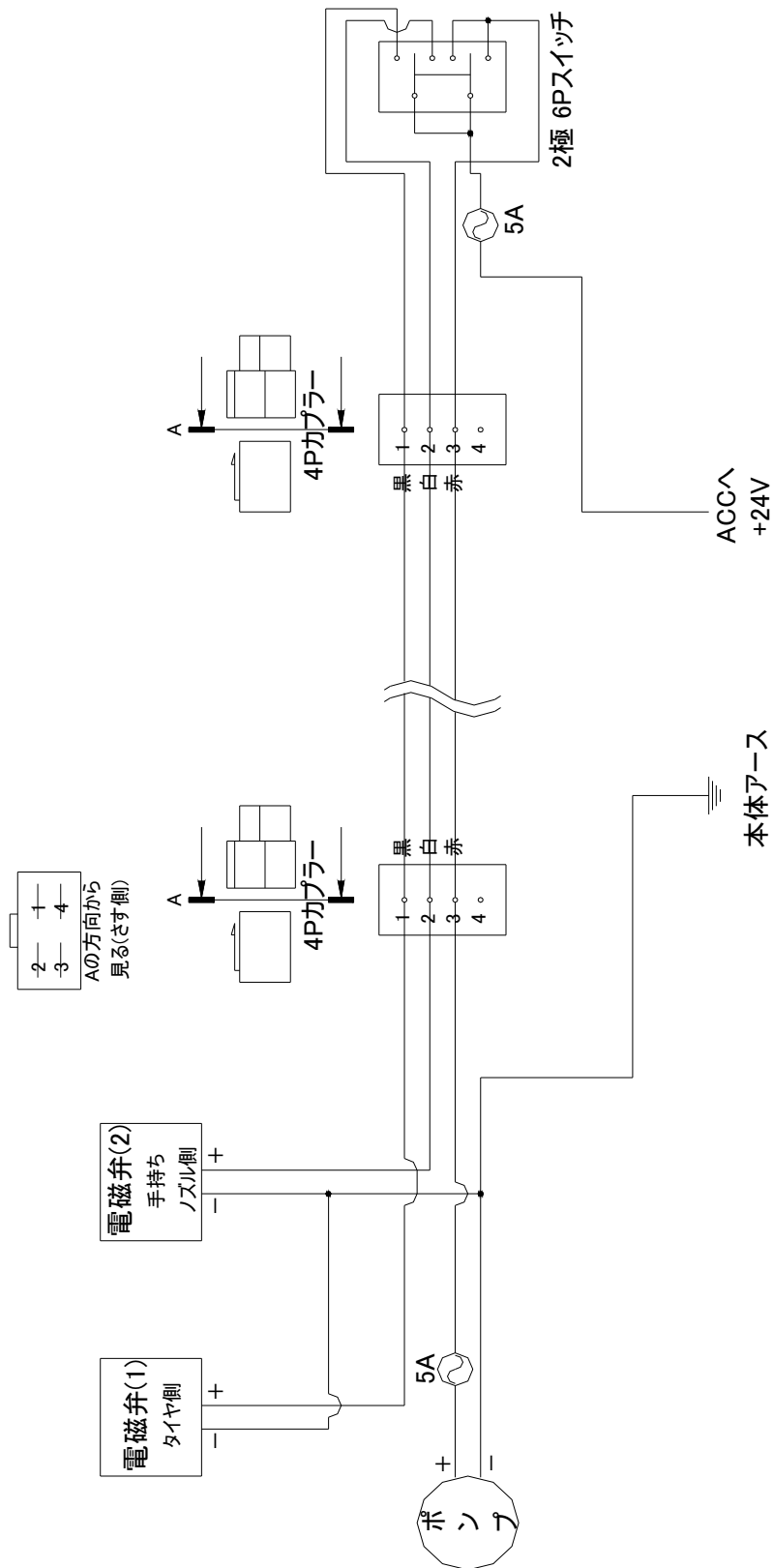
ポンプの空転はポンプの寿命を短くします

2. アースは車体から取ってください。
3. 配線は付属の結束バンドにて、車両の他の装置と干渉しないようにしっかりと固定してください。

次項に電気配線図を示します。

## 4. 取り付けの手順

電気配線図



### 寒冷地でご使用のお客様へ

薬液の凍結のおそれがある場合、本装置はご使用いただけません。

本装置を永くご使用いただくために、冬季間は下記の手順に従い、凍結防止の対策をしていただきますようお願いいたします。

### 凍結防止対策の手順

- ① 薬液の代わりに不凍液を入れ、数秒間噴射させ、配管内に不凍液を通します。
- ② 噴射ノズルを取り付け金具ごと取り外します(自動車のタイヤハウス内に出来るだけ突起が残らないように外してください)。
- ③ 噴射ノズルにつながるホースを適当な位置で外してください。(タケノコやネジ込み等、外しやすい場所で構いません。)
- ④ 外したホースの先端は、ゴミが入らないようにビニールテープ等で栓をしてください。その上でホースを束ねて車両本体にしっかりと固定してください。
- ⑤ 外したノズル等の部品はきれいに清掃して保管してください。

作業全般を通して、外した部品やホース等で車両の走行に支障が出ないように充分注意されますよう宜しくお願い致します。

---

東北海道いすゞ自動車株式会社 特販事業部

080-0010 帯広市大通南7丁目8番地

TEL (0155) 24-1219 FAX (0155) 24-1233

最終改訂：2006年3月

---